

広聴特別委員会記録

令和4年3月9日

【開催日】 令和4年3月9日（水）

【開催場所】 第2委員会室

【開会・散会時間】 午後2時～午後4時

【出席委員】

委員長	矢田松夫	副委員長	岡山明
委員	中島好人	委員	長谷川知司
委員	松尾数則	委員	吉永美子

【欠席委員】

委員	古豊和恵
----	------

【委員外出席議員等】

副議長	中村博行
-----	------

【事務局出席者】

事務局長	尾山邦彦	事務局次長	島津克則
庶務調査係長	田中洋子		

【審査内容】

- 1 議会報告会について
- 2 モニター制度について

午後2時 開会

矢田松夫委員長 それではただいまより、広聴特別委員会を開催します。本日の委員会に当たって、古豊委員から欠席届が出ておりますので、報告をさせていただきます。本日の付議事項について、一つは議会報告会についてです。その後にモニター制度についての議論をしていきたいと思っております。最初に議会報告会については、これまで何度も議論してございましたけれど、このようなコロナ感染拡大の下では、集まることについてはやめていこうということで、ユーチューブで議会報告を配信していくというようなことを決めて、今日まで来ました。3月1日にはユーチューブで配信する骨子について決めましたので、今日の委員会の中で

枠を固めて、基本的なことを決めていくために皆さん方の御意見を頂きたいと思っております。まず、最初にチラシ、アンケートについて、皆さん方の御意見がありましたらお願いします。前回決めたのは、チラシ担当については、岡山副委員長、松尾委員、古豊委員、アンケートの内容についての担当は、吉永委員、長谷川委員、中島委員で取組をするということで決めました。この内容については、いつ頃、どのようにしていくのか、皆さん方の御意見ありましたら、お願いします。

吉永美子委員 アンケートにつきましては、私のほうで一応たたき台を作らせていただいて、長谷川委員、中島委員と協議をして、この委員会にこれでどうでしょうかと出したいと思いますが、出す日程はこれからしっかりと詰めていきたいと思えます。

松尾数則委員 チラシにつきましては、私と岡山委員と古豊委員となっておりますけれど、岡山副委員長を中心にまとめて、25日までには配布できるような形にしたいと思っております。

矢田松夫委員長 25日までにチラシとアンケートについて決めていく、内容については詰めていくということでもいいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）お願いします。それから、3月11日に全議員が集まりますので、この度のユーチューブでの配信内容について、あるいは取組についてお願いを私から全議員へ説明させていただきますが、このことについてはいいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）3月11日、議員連絡会の中で皆さん方をお願いしていくということでもあります。あと日程的には、それぞれ3常任委員会の皆さん方が準備をするわけではありますが、パワーポイントとか、読み原稿について、その日以降決めていただきたいと思っております。一応この前も大体の日程を決めましたが、16日に配信予定です。延びるかもしれませんが、一応4月16日を目標に準備を進めていく。目標ですから、ずれる場合もありますが、一応目標にしておきたいと思っております。内容については、前回決めたとおり、各常任

委員会の正副委員長によるか、各常任委員会に任すということでありますので、録画撮りにそれまでに入っていきたい。前回、このような取組について決まりましたが、皆さん方のほうで取組の内容と日程について御意見はありますか。（「なし」と呼ぶ者あり）それでは、どのような内容でどのようにして配信映像を流すのかというルールについて、皆さん方の御意見を頂きます。前回決まった報告内容については、委員会ごとに行う。それから報告項目です。議案については、3本ということですから、それから、一つの項目議案については5分以内ですから、全体を合わせると一つの委員会で15分以内ということを決めました。これについて皆さん方の御意見はありますか。

長谷川知司委員 今回初めてやるので、レベルをあまり上げずに、委員会ごとに報告項目1本、5分以内ということでしたらどうかなと思います。それでも3委員会で15分掛かりますので、あまり長いと皆さん見られないし、やはり1本でいいんじゃないかなと思います。

松尾数則委員 私の思いも長谷川委員とほとんど同じで、私たち議会の思いを広く伝えるために、やっぱり委員会ごとに出して、各委員会で1本ぐらいに絞ったほうが、今回は思いが伝えられるんじゃないかという気がします。私は長谷川委員の意見に賛成です。

矢田松夫委員長 これまで2回議論する中では、議案は3本ぐらいにして15分以内、1本5分でというふうに決めたが、今日の委員会の中では、今お二人の意見がありました。そうさそうさ、いや違うという方がおられましたら、お願いします。

中島好人委員 それぞれの委員会によって、重要案件が1本に限らない委員会もあるわけですね。1本で充実させる案件もあるし、別に僕は委員会に任せていいと思います。だけど、基本的には15分以内、3本以内というか、そのぐらい幅を持たせないと、ここで型をはめてしまうと、余

り良くないんじゃないかなと思います。それぞれの委員会で、新年度予算でこれは新しい事業、これとこれはどうしても伝えたいというのに、1本だと言えますか。どうですか、と言えますか。

長谷川知司委員 中島委員が言われますように、1本に固執することはないということであれば、各委員会に任せていいんですけれど、1本でもいいということで、あくまでも1項目5分以内で15分以内という大原則ならそれでいいと思います。

吉永美子委員 今の雰囲気としては、私も1本はどうかなと思っています。委員会の考え方を尊重するというのであれば、3本までということで、3本にこだわるということにしなければいいんじゃないでしょうか。

岡山明副委員長 私は、逆に1本だと思います。議会報告会におきましても、今までは各常任委員会で5分で1本という状況がありましたので、その延長線上で、今回、初めてのユーチューブという状況になりますと取扱いもなかなか厳しいという状況があります。その辺は1テーマという形で、3常任委員会で進めていただいたほうがいいと思います。

中島好人委員 従来の形と違うんですね。ユーチューブを家の中で見るのに、その1本に関心がなかったらどうなのか。飛ばしてしまうし、2本あれば、こっちのほうは見たいという選択もあるわけですよ。それを今までが1本だったから、今回も1本というのはおかしいんじゃないかなと思います。長年の先輩たちが今までやってきて、そういう評価ならば、私はこの4年間を見ていないんですけども、素人感覚でそういうふうに思います。

長谷川知司委員 今までは、1本で5分ということであったんですが、そのあと、みんなで話し合っただけで様々な議題をいろいろ意見出しあっておったんですね。今回、それが無いということだから、今中島委員が言われたよ

うに1本にこだわる必要はないんですが、ただ、初めてですから1本でもいいし、3本までということで、委員会に任すということなら、私はそれはそれでいいと思います。

矢田松夫委員長 市民から見れば、差が出るということではないんですか。

長谷川知司委員 テーマごとに5分以内で区切れればいいんじゃないですかね。

中島好人委員 そうすると、一つの委員会は5分で終わるわけですか。（「はい」と呼ぶ者あり）

矢田松夫委員長 そこに差はないのか。

中島好人委員 岡山委員が1本というのは、5分で産業建設をやったら、民生福祉も5分で終われという話ですか。

岡山明副委員長 3常任委員会ありますが、常任委員会ごとに5分。これまでの議会報告会だったら5分の1本で、意見交換会の時間を取ったという状況です。今回は意見交換会がアンケートという形になりますので、1テーマで各委員会から報告し、意見交換会がないという初めての開催になる。今回は最初ということで、その辺を推進して、1回目はそれでいいんじゃないかと思っています。

中島好人委員 岡山副委員長が言うのは、報告は1本で5分にやり替えるという話ね。

矢田松夫委員長 今までみんなが決めたことですが、前回、皆さん方が各委員会で3議案、15分程度と決めました。視聴者、市民から見たメリットデメリットはどうか。そうしたら皆さん方が、1本5分以内で、3本で15分以内というふうに決めたんですよ。今日、中島委員、長谷

川委員のほうから、いやそれは長いから1本にという意見がまた出たんですよ。（発言する者あり）いやいや、ごめん。中島委員ではなく松尾委員に訂正します。松尾委員のほうから、決めたことに対して修正案が出たから議論になったんですよ。また元に戻ったんですよ。

長谷川知司委員 元に戻ったというのは、他市のユーチューブを見たら、やはり3本で15分を一つの委員会がするというのは長いんじゃないかなと私は思ったわけなんです。そういうことで、1本で5分というふうにしたんですが、それがどうしても決められなければ、委員会で2本、3本まではいいという見方をしたらどうですか。ただ、あまり長いと視聴者の方は見られないんじゃないかなと思ったんです。

中島好人委員 先ほど中島と間違えたことにはちょっと遺憾です。冷静になりますけども、一つは1本だから5分、一つは3本やったから15分というのはおかしい話なんです。となると、2本10分なり、そういうふうにしたほうがすっきりしていいんじゃないかと思うんです。1本のところは、1本で10分に、15分が長いというなら10分で終わらせるとか、統一したほうがいいんじゃないですかと僕は思います。私どもの委員会は、1本だから5分で終わります。私どもは3本やりますから15分でやります。おかしいでしょう。だから、3本15分以内とかに決めるか、10分以内と決めるか。そのほうがすっきりしていいんじゃないかな。前回決めた3本15分以内というのを覆すならね。2本10分までとかにしたらいいんじゃないかなと思いました。いかがでしょうか。

矢田松夫委員長 私もアンバランスが出るんじゃないかと長谷川委員に言ったんですけど、アンバランスが出ることについて、中島委員から折衷案のような意見を出されましたが、この中で決めていかんと、また次の会議になったら元に戻ってはいけんから、今日決めておかんとですね。

中島好人委員 僕はまとめるために真ん中を取ったわけです。僕は3本で15

分だけど、1本で5分と言うから、2本で10分はどうかと折衷案です。
これで駄目という人がおるか。

長谷川知司委員 とにかくやってみましょう。中島委員が言われた案でやってみて、駄目なら、またそのときに考えてみればいい。それでやりましょうよ。

松尾数則委員 各委員会で決めるという内容は、当然賛成しますし、例えば、今からユーチューブ動画を作る、この広聴特別委員会の中で作る、広聴特別委員会だけじゃないな、山陽小野田市議会全体で作る内容にしたいと思っているんです。そうすると、委員会ごとに3本というのは、基本的に僕は不可能じゃないかなと思っただけの発言なんですよね。みんなで作れる範囲でという話で、僕は1本と言ったんです。それは言われるように、例えば民生福祉だって、三つも四つも皆さんに伝えたいことはあるんですけれど、ユーチューブを自分たちで作って流すというほうに、僕はどちらといたら重きを置きたいなと思っています。

岡山明副委員長 私も1本という話をしているんですけど、今回ユーチューブで最初のスタートということで、どうしてもそこの部分がちょっと引っかかります。松尾委員からも話が出たように、15分で最終的に3本で終わるという状況になればおかしい。内容としては、今回、新年度予算もあって3本も4本もある中で、山陽小野田市議会として初めて手作りのユーチューブを発信する状況であれば、充実した内容で手作りしたユーチューブで、時間は短いけれど、そういう発信も一つの山陽小野田市としての大きな今後の足掛かりとして段取りを積むということで、私は今回1本手作りということで進めさせていただいたらどうかと思います。

矢田松夫委員長 1本にこだわるんですね。

岡山明副委員長 はい、1本にこだわります。

中島好人委員　なんで、3本15分と言うんかね。3本15分の話じゃない。
2本で10分の話をしている。

岡山明副委員長　中島委員が言われた折衷案なんですけど、私は折衷案というよりは、今回は山陽小野田市市議会として手作りの初めてのユーチューブ発信という状況が前提になると思うんですよ。そういった意味で、2本とかではなくて、1本だけで一発勝負でやりましょう。そのほうがかえって、山陽小野田市議会の団結をもってユーチューブで進めると私は思って、今回、各委員会是一本勝負で発信していただきたいと思います。

吉永美子委員　今、議論がなかなか固まらないところで、もともとは先ほど話が出たように3本で15分以内ということで、一応決まっていた状況です。ここでどうだろうかとやっているということは、よその議会はどうなんだというところがあったと思うんです。ですので、ちょっと暫時休憩して、他の議会の状況も私は確認したいと思います。お願いします。

矢田松夫委員長　ということでありまして、それでは、ただいまより暫時休憩します。

午後2時25分　休憩

午後2時55分　再開

矢田松夫委員長　それでは、休憩を解き、委員会を再開します。休憩前の議論は、議会報告についてであります。これまでは、報告項目については、3本で各5分、そして15分以内というふうに決めておりましたけれど、各市議会のユーチューブ配信を委員の皆さん方が見てから、少し変更するような議論が出ましたし、中島委員から折衷案も出ましたが、そろそろまとめていかななくてははいけませんので、まとめに入りたいと思います。

皆さん方の御意見がありましたら、お願いします。

中島好人委員 先ほど、実際に行っている先進地の松山市とか豊前高田市やさくら市とか駿河市とか、いろいろ見させていただきまして、やはり各常任委員会の紹介とかを見ました。そうすると、かなり時間的にもそこに取られるというのもあって、やはり見たら映像とか写真がかなりあるので、その辺では一つの議案を丁寧にやっているなという感じを受けましたので、1本を大事に進めていくという方向かなと見ましてそういうふうに感じました。

吉永美子委員 大体想定として前にも言っていましたけど、初めてのことで、議長に挨拶してもらってというところから導入部分は大事だと思っています。中島委員から話がありましたように、いろんなどころを見せていただいた中で、とにかく市民の皆様は、見ていて「いいね」と思ってもらえるように頑張っていかなきゃいけない、自己満足に絶対入っちゃいけないということを改めて感じさせていただきました。私がここで思ったのは、全体の時間を、例えば議会の紹介とかを全部入れて30分で終わらせるというところで考えていくということを思いますと、一つと言われたが、一般会計にはいろんな事業があって、そういった事業の大事なこととかを報告する委員会としては、そう決まる可能性はある程度高いと私は思っているんですね。そうすると、一つの議案を7分程度までということに改めて全体を30分で、そこを分けて考えると、7分程度で1議案ということに改めて御提案したいと思いますが、いかがでしょうか。

岡山明副委員長 各市議会のユーチューブの録画を見させてもらったんですけど、やはり各常任委員会のほうから大体三つあったような感じなんですけど、あと議会の説明とかもありますので、常任委員会のテーマとして1議案5分で、今見た限り内容は5分でいいんじゃないか、問題ないとは思っております。

吉永美子委員 私が言いたいのは、30分と考えたとき、その程度がいいのかなと思って、議会の紹介、議長の挨拶、そういったのを入れることと、やはり委員会でも、これは前から言っていますが、委員会がどういうことをいつもやっていますよということとかでも、やっぱり1分くらいは取ると思うんですよ。そういったことを考えていくと、議案に対しては、五、六分かもしれませんが、そういう紹介とかも入れて、全てで7分ではいかがでしょうかと申し上げているつもりです。

中島好人委員 私も吉永委員と同様です。この5分と出たのは、説明するのに5分だから、今見ていたように委員会から報告するというのもあると、やっぱり僕はせめて7分は行くんじゃないかなと思いますので、7分案に賛成です。

長谷川知司委員 7分以内ということでしょうか。

矢田松夫委員長 それで、基本的に報告内容の時間の配分なんですが、全体30分とすると、1議案は7分で、残った3分は、委員会の紹介なりをするという理解でいいですか。違いますか。1委員会で10分程度というに決めて、1議案が7分で残り3分で委員会の紹介ということでもいいんですか。

長谷川知司委員 最初に議会の紹介説明とかあると思うんですよね。ですから30分とは言いながらも、各委員会で委員会の紹介を含めて7分ということだったと思うんですけど。

矢田松夫委員長 その時間の配分はいいですか。決めなくてもいいですか。

岡山明副委員長 各委員会の紹介を入れて7分で、30分にあまりこだわらなくてもいいのではないですか。あと議長の挨拶はあると思いますので、

その辺で、柔軟性を持たれた時間調整で、基本的には今言われたように1委員会7分を原則として、あとは時間を振るという形でいいんじゃないかと思います。

吉永美子委員 私が言っているのは、30分程度ということで、28分になったっていいわけで、それ以外のところは、何を入れたらいいかというところで、最終的に決めたらいいのかなと思います。私は議長の挨拶は必要だと思っています。それと、ほかでもあった議会の説明とかも少しあっていいのかもしれないし、それは皆さんで議論して決めたらいいのかなと思います。ほかに付ける部分を、委員会の報告以外のところを決めていくといいと思います。

中島好人委員 いつもやっていたアンケートの説明も入れる必要があるかと思いますが。そうすれば30分ぐらいになるんじゃないですか。

岡山明副委員長 それともう一つ、先ほどの休憩のときに話が出たんですけど、今回、初めてのユーチューブ配信ですので、デジタル化推進特別委員会の委員長、副委員長をお呼びして、ユーチューブに対する対策ができればと、私は思っているんですけど、その辺はいかがですか。

矢田松夫委員長 広聴の骨組みができれば、お呼びして来ていただきたいと考えております。まず、ここで議論して方向性だけ決めないと。基本的に30分以内にしましょうね。（「はい」と呼ぶ者あり）そして、各常任委員会7分ということで、残った時間をどうするかについては、皆さん方の意見を頂いておりますので、議長の挨拶、議会の説明、アンケートのほかにありますか。スタートのルールです。最初のルールです。ほかに何かありますか。残った時間をこういうふうに割り振る。画面スタートします。この画面の内容です。次に行きます。そしたら、分割配信というのは、もう3議案でやっておりましたので、分割ということはなしということですね。1本の議案でありますので。それで、パワーポイント

トの原稿内容であります。基本的に見た人から言われるのは、議会報告会もそうですけど、決まったことを説明するなど。その結果、どうなったのかというのが、市民が一番聞きたいんだというのがあります。この前24ポイントでやるとか意見が出ましたが、これもどうなんですかね。こういうルールも要るんですかね。僕はよく分からないけど。

松尾数則委員 委員会ごとにパワーポイントで作るということでいいんですね。そのときに、僕は24ポイントはちょっと違うなという気がするんです。28ポイントぐらいいるんじゃないかなっていう気がするけど。

矢田松夫委員長 島津次長、覚えていないですか。使ったところもあったから、それちょっと見たんだけど。

島津議会事務局次長 動画で使われているパワーポイントのポイント数は分かりません。

矢田松夫委員長 分かりました。その次、この前の3月1日の協議会の中では、この程度が最初必要ではないかというのがありましたが、これはどうですか。この程度を入れてくれとか、この程度は要りますよとか、そういうルールが必要だと思うんですが、どうですか。どこまでとか。

吉永美子委員 初めてやることなので、常任委員会が録画をする際に、順番とか、ある程度こちらで決めておいてあげたほうが迷わないというのはあるのかもしれないですね。ばらばらというのもまずいのかもしれないので、ある程度細かく、こういう流れで作ってくださいというのは大事でしょうね。だから、そこをどこまで、こちらでお願いしていくかというところをきちんと決めていけたらと思うんです。先ほどの映像とかでもありましたように、顔の写真でいいんじゃないかと前に言われて、私はここで並んだほうがいいんじゃないかと言ったはずなんです。今回見たのは、動画になっていましたから、そっちのほうが更にいいのかなと

いうふうに思います。委員の紹介というところで、まずそこから入っていく。そして、やはり議長も言っていましたけども、写真をより多く入れる。それと、視覚、聴覚障害の方のためには、やはり言葉、文字というところをどう工夫するかというところですよ。いきなり手話を入れるのは難しいでしょうから、少なくとも手話言語条例を制定した市としては、市議会としては、やはり聴覚障害の方の視点も大事にすべきだというふうに思っています。あとは……

矢田松夫委員長　それでは、まとめてください。

吉永美子委員　だから、最初に動画で挨拶をするでしょう。そこから入りますよね。そして、説明のときにより分かりやすくはっきりと言葉をしゃべる。その際には文字を入れて聴覚障害の方に対応する。パワーポイントだけではなく写真も使う。それと議案名は要らない。分かりやすい言葉にする。市民の方が見て関心を持っていただけるように工夫する。思いつくのは以上です。

松尾数則委員　ちよつとこの前、ほかの講習会に出たときにしゃべったら、そのまま文字に出ていました。こちらが意見を言ったら、それはそのまま文字に出ていたんだけど、そういうことも可能なのかな。文字でそのまま出ていました。

島津議会事務局次長　グーグル等に音声自動認識がありますので、スマホとかでもしゃべれば、文字が出てくるということはあるんですけども、それをパワーポイントとかでやるというのは、ちよつと難しいんじゃないかなと思います。先ほど見ていただいた動画では、写真をメインに使っておりましたが、もともと読み原稿を作っていたらと思います。その読む部分を写真の下にパワーポイントとして、文字を入力して、ナレーション代わりのような形で使われていたようです。

岡山明副委員長 ちょっと事務局に確認するんですけど、たしか2月28日の産業建設常任委員会における請願か何かの審査を見たときに、テロップが入っていたような記憶があるんですけど、出ていましたか。

島津議会事務局次長 委員会中継でテロップを入れているのは、何々委員会とか、休憩中、何時再開とかいったものは出しております。ユーチューブ等で大画面にしないとき、又はどういう再生方法か分かりませんが、自動でテロップが付くような再生もあるはずですよ。

岡山明副委員長 私が産業建設常任委員会を見たときに、言った言葉をすぐテロップにすると誤字がすごく多いんですよ。発言に対してテロップを出すと誤字脱字が多いので、それはちょっと厳しいと思います。

島津議会事務局次長 テロップというのは決められた言葉を入れるので、こちらで入れるものです。多分見られたのは自動翻訳か何かでオートで出てくるテロップ、若しくは字幕と呼ばれるものなんですけど、あれは多分機械的に変換して出しているんで、誤字とかは多いだろうというふうには思います。

矢田松夫委員長 発言の言葉をずっと入れていくのは難しいということやね。

島津議会事務局次長 はい、そのとおりです。

矢田松夫委員長 さっき吉永委員が言われた中で、文字を入れるというのがそういうことか。違うか。

島津議会事務局次長 パワーポイントの下に読み原稿で読まれるところを打ち込んでおけば、自動的にそれがテロップになるということで、吉永委員もそのことを言われたんだと思います。

矢田松夫委員長　今まで見た常任委員会の中では、全体像というのがあったよね。全員がそろったのがあったね。それを最初に入れるというルールを作っておかないと、入れる委員会もあるし、入れない委員会もあるからね。そういうことですね。そういうルールですね。全員の全体像を入れていく。スタートの段階でほかに決めるところがありますか。ルールはほかにないですか。（「はい」と呼ぶ者あり）次にその内容ですよ。内容をどうするか。ちょっと今度は高度な取組になりますね。これになると、ちょっと僕は分かりませんね。どんなソフトで、どのような物を作っていくのか。それによって一番下に書いてあるように、一定程度のルールがないと、本当に委員会ごとに優劣というか、それができてしまうんじゃないかということもないことはないわけね。そういうルールというのは必要なんですかね。そういうルールがなければ、そういう結果になるんですかね。ちょっとその辺が、僕には分からないんですよ。

島津議会事務局次長　例えばですが、最初に議長の挨拶を録画する。その後、各委員会の紹介を録画する。今まで見た中で多いのは、報告部分はパワーポイントを使って録音して動画にしているというような形式が多かったように思います。結局、それをつなげるところに、恐らく編集用のソフトか何かを使って、動画をつなげて1本の動画にしているのではないかなと思います。パワーポイントを動画にするんですけど、当然、事務局もやったことはございませんから、今どういうふうにできるということとは、単純には答えづらいところがあります。

矢田松夫委員長　そこが一番のポイントですね。

島津議会事務局次長　そうだと思います。ただ、初めてのことで、どういうふうになるかというのをこの場でお答えするのはかなり難しいので、YouTubeを作るということと、あと各常任委員会にパワーポイントを作ってもらって、それから、読み原稿を作ってもらって依頼するということになるかと思っています。あとは、その内容を、例えば写真を多めに

して、下に出る読み原稿の部分で市民に分かりやすくするというようなことを決めて、作ってもらおうとしか言いようがないところです。実際にできたもので撮ってみて、どうなのかというのを皆さんで検討しないことには、ちょっと難しいかなというふうには思います。

矢田松夫委員長 分かりました。先ほど、吉永委員が言われた基本的なことをもう1回作って、11日に皆さん方に今までの内容をお願いします。そして、録画して動画配信、その手前に録画から動画を作るときには、もう一回点検するところがありますので、4月11日頃、これも遅いか早いかですね。日程的に、皆さん方に11日をお願いしますわけですよ。何日頃までにこれをしてくださいと。大体の目安というか、お願いすることは今決めました。では、いつ頃までというのを皆さん方の御意見を頂きます。それが決まったら、ユーチューブでの議会報告は取りあえず終わります。

岡山明副委員長 2週間しかないですよ。

矢田松夫委員長 2週間もある。2週間しかない。

中島好人委員 3月11日に全議員に配信内容の依頼をするわけですよ。そのときに併せて、写真とか撮るんですか。

矢田松夫委員長 それを説明します。一覧表をもう一回作って、それをいつまでにやってくれというのを説明します。

中島好人委員 依頼と同時に、そういう報告をする、1本の議案で写真を何枚ぐらいとか言うのか、言わないのか。

矢田松夫委員長 もうその話は済みました。今度はそういうのをやってくださいよと、それいつまでやってくださいよという日程的なことです。

中島好人委員 説明する議案のパワーポイントに写真を取り込むわけでしょう。だから、写真が何枚とか、そういうのも一遍に依頼したらいいんじゃないかなって思ったんだけど。

長谷川知司委員 どうしても新年度の予算、それから議案とかが終わってからでないと、各委員会ではどういうことをするというのが決まらないと思うんですよね。それが終わってからやるのであれば、4月4日まで1週間早めたらどうかと思うんですけど、難しいですかね。

矢田松夫委員長 中島委員が言うのは、その前の話なんです。その前、原稿の話なんですよ。吉永委員は写真を取り入れたほうがいいと言ったが、その写真の枚数を今言われたんですけど、それはもう任せるしかない。枚数によって延びるとか早くなるとか、報告はありますか。

長谷川知司委員 実際、皆さんが集まって、すったもんだしないといけんと思うんですよね。となれば、やっぱり本会議が終わった25日から本格的に動くというのであれば、やっぱり4月上旬ぐらいまで掛かるんじゃないかなと思うんですけどね。

矢田松夫委員長 今締切りを11日にしているんだけど、今、早めなさいと。その前の月曜日。

島津議会事務局次長 今回の日程は、これまで議会報告会をやってきたときに、パワーポイントを実際いつ締切りにしているかというところを参考に委員長が作られていると思います。そこから更に1週間早めると、各委員会の協議会をする間もないんじゃないかなと思うんです。通常であれば4月の第1週ぐらいに集まられて、一旦出てきたものを委員会で協議して、手直しをされてから出されています。大体10日過ぎぐらいに出されていますので、それを1週間縮めるとちょっと厳しいのではないかと

などと思います。

矢田松夫委員長 それでは日程的なことを含めて、少し休憩をして再開したい
と思いますので、3時40分まで休憩します。

午後3時30分 休憩

午後3時40分 再開

矢田松夫委員長 それでは休憩を解き、委員会を再開します。皆さん方から御
意見を頂いているのは、読み原稿及びパワーポイントの締切りについて
は、4月11日にしていただくということであります。それで、この前
まで皆さん方に議論いただいたのは、4月16日土曜日に配信予定、目
標にするといったことを決めましたが、もう少し全国の市議会のユーチ
ューブを見た内容を見て、もう少し研究というか、いいものというか、
市民が見て分かりやすいユーチューブ配信にするために、日程的なこと
をいつ頃最終目標に置くのかということについて、皆さん方の御意見を
頂きたいと思います。どなたかお願いします。

中島好人委員 やはり11日に材料がそろうというのは大事だというふうに思
うんです。材料がそろって、どういうふうに料理していくか。その料理
というのは、未知なんです。だから、経験があれば何日と示せるけれど
も、どこにどういうふうにするというのは、なかなか僕らは経験がない
し、予想もつかないんで、作業に当たる人の意見もきちんと酌み取る必
要があるんじゃないかと思います。だから僕はここの委員会の中で、何
日と決められない点があるんじゃないかなと思います。だけど、材料が
そろっているのは必要だろうと思うんですけども、分からんもんですか
ら、分からん者が言ってもしょうがないんで、分かる人に聞いたらいい
んじゃないかなと素人感覚で思います。

矢田松夫委員長 4月11日に材料がそろうので、私たちの協議会にデジタル委員会の正副委員長を呼んで、その材料、料理をどういうふうにするのか協議会の中で決める。それによって配信の日を決めていく。しかし目標は、ゴールデンウィークの前頃とかぐらいは大体決めておかんと、夏休みかお盆頃という話になりかねませんので、岡山副委員長の折衷案を取って、連休前をめどにするということです。

中島好人委員 この提案であれば、それで僕はいんじゃないかなというふうには思いました。

岡山明副委員長 私のグループでチラシとかを作るもんですから、月末までという形で皆さん納得されるのかなと思いました。ユーチューブの配信は4月末頃ですよというのをポスターなんかに入れるかどうかについて、皆さんの意見を聞きたい。

吉永美子委員 なかなか日程決めるというのは難しいと思うんです。ただ、前から言っているように、極力早く発信をしていく努力はすべきだと思います。ですので、いつまででいいやというふうには絶対にすべきではないと思っています。だからチラシの在り方については、考え方の一つとして、今回初めての経験なので少し時間を頂きますが、用意ができ次第発信いたしますという形で、何日とかいうのは書かないほうがいいのかもしれないというふうに感じています。私は早くから発信する努力は絶対にすべきだと思います。いつぐらいまででいいということにはなってはほしくないという思いを持っています。用意ができ次第発信という言葉では駄目ですかね。いつ頃にどうのではなくて。

矢田松夫委員長 準備でき次第ということは、具体的に連休前頃で決めたんですけど。

吉永美子委員 どうですかとは言われていません。私は連休前でいいやという

ふうになってほしくないと言っているわけです。大変だから、難しいだろうという話はあるけど、ゆっくりで、連休になればいいというふうになってほしくないと言っているわけです。

岡山明副委員長 吉永委員が言われたとおりだと私は思っています。でも、4月16日がちょうど議会だより発行日です。議会だよりと併せたような形のユーチューブの配信ということは、連動してやると私は思ったんです。

長谷川知司委員 岡山委員、ちょっと勘違いですけど、議会だよりは5月15日です。それとは関係ないと思います。

中島好人委員 チラシ担当の話全体を持ち出しても、ちゃんと案を作って検討する時間は何ほどもあるわけですから、そこはちゃんとチラシ担当のところ案を出して、チラシ担当3人で話し合っ出してもらったらいので、ここでチラシの案まで考える必要は僕はと思います。

矢田松夫委員長 吉永委員は、できるだけ早く、連休前とか、ある程度目標がないといけんのじゃないかということ言ったんですけど、準備でき次第という言葉であれば、準備ができなければ延びるということもあるし、どうなんですかね。準備でき次第でいいですか。

長谷川知司委員 対外的には準備でき次第行いますということしかないですけど、内部では細かな目標は決めておくべきだと思います。

矢田松夫委員長 いや、それを決めてください。

長谷川知司委員 それについては、中島委員も言われましたように、4月11日に原稿が出て、それを見て、どう料理するかというのがありますから、そこで決めるしかないんじゃないかと思います。取りあえず4月11日

というのを一つ決めるしかないんじゃないかと思います。

岡山明副委員長 皆さんちょっと確認です。4月16日に配信するということがいいですか、そういうことなんでしょう。いろいろ話をされている状況で、委員長からは4月末でやりましょう。吉永委員からは4月11日、考えている日程よりはちょっと延びるといった状況の中で、準備ができ次第という話の下で、日程が組まれるという状況になっています。そういう意味で、じゃあ、いつなのかと。ある程度、目安を決めていただきたいと思うんです。チラシも月末という表現で作成しようかなと私は思ったんですけど、その辺はどうですか。

島津議会事務局次長 市の広報に載せる原稿もそうですけども、チラシの本来の目的は、恐らく議会報告会の中止ということがメインではないかというふうに思います。その中で市広報に載せるのであれば、議会報告会の代わりとなる議会報告会の動画を今後作成していきます。できましたら、市議会のホームページに掲載しますので御覧くださいというような一言を添えるような形になるのではないかと思います。

矢田松夫委員長 それではチラシ担当の岡山委員、松尾委員、古豊委員の3名で、そういったことを含めて、11日に締め切った頃には、大体の目安ができるけど、それではいけんよね。

松尾数則委員 今の話によると、チラシは議会報告会をしませんよという内容で、例えば、今度ユーチューブでこういうことを流しますというようなものまで入れるとなると、11日まで待たなければいけないですね。かなりきついなという気がします。3月25日でもう本会議が終わります。本当はここまでに何とかしたいなと思っていたんですけど、チラシの中に何を入れるかの問題なんです。先ほど言ったようにやりませんというのを入れるだけなら簡単にできますけれど、ユーチューブの中で、こういうのを流しますよというような内容まで入れるとなると、ちょっ

と難しいんじゃないかなという気はします。

長谷川知司委員 ちょっと誤解があるように思います。チラシそのものも3月25日に配りますので、これについては先ほど言いましたように、議会報告会はしません。その代わりに動画をユーチューブでも流しますというようなことを入れればいいんであって、4月11日というのは、ユーチューブに流す粗原稿をもらうということなんです。

松尾数則委員 それはもちろん分かっています。チラシの中にユーチューブの中身を入れんでいいのかというのが言いたかったわけです。

矢田松夫委員長 まとめます。3月25日の最終議会のときは、議会報告会については「中止、プラス動画配信をします。時期については準備でき次第」と書いていただく。その他については、チラシ担当の岡山委員、松尾委員、古豊委員で考えてくれということでもいいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）終わります。

岡山明副委員長 日付は必要ないということで了解しました。準備でき次第で、乞う御期待、期待してくれということですね。

矢田松夫委員長 はい、大体のユーチューブのスタートまでの骨格が決まりました。あと、忘れものはないですか。今日決めたことを11日に皆さん方にお願ひしますので、こういうふうにして下さいよということでお願ひします。あとは誰がどういうふうにするのは、各委員会の協議会で決めていただくということですが、皆さん方にお願ひするルール等で漏れがないですか。さっき言ったように、委員長の挨拶はないんですが、委員会の全体の動画が要る。委員会の紹介とかするところがあります。大体のルールは、ほかにないですか。また、ルールだから追加してもいいんだけど、できるだけなら、統一したルールにしてお知らせしたほうがいいと思いますので、抜けがあったらお願いします。

松尾数則委員 だからそのルールを決めるんでしょう。何か委員会ごとに皆の写真を撮るとかも含めて、皆取りましようよと。

矢田松夫委員長 もう大体決まったんだけど、ルールは決めたんだけど、まだ足らんことがあるかと言ったんです。

吉永美子委員 先ほど聴覚障害の方への配慮とかいろいろ意見を述べさせてもらったつもりなんですけど、それで明後日の11日の議員連絡会で全議員に配信内容の依頼と説明ということで、配信内容の規則的なものを作り、委員の皆さんにまずメールで送っていただいて、11日当日を迎えていただけるとありがたく存じます。それを確認して、皆さんの意思を統一するというところでお願いします。

矢田松夫委員長 今日作って、明日事務局に送ったら、明日中に送れますか。

（「はい」と呼ぶ者あり） 今日作ります。いいですか。（「はい」と呼ぶ者あり） ほかに忘れていたようなルール、各委員会が統一して取り組むルール、これだけやっておかないといけんだとかはないですか。ここまではみんなと足並みそろえるとか、技術なことは全く分からんから、それまでの大体の標準的なルールはほかにないですか。あったら、また考えてください。11日までに皆さん方に周知するルールです。（発言する者あり） 松尾委員、今ルールをみんなで決めたんよ。さらにまだあるかというふうに聞くんです。もう1回ルールを説明しようか。（発言する者あり） それをまとめるから、それでまだあるかという話をしています。なければ終わりますけど、あればまた言ってください。こういうのを忘れていたとか、こういうのを統一的にスタートラインとして立たんといけんよとか、報告内容も二転三転したけど、それもルール決めたんですよね。いいですか。終わっていいですか。（「はい」と呼ぶ者あり） 付議事項の2に行こうと思ったけど、もう2時間たったから、いいですか。（「はい」と呼ぶ者あり） それでは以上をもちまして、広聴特

別委員会を閉じさせていただきます。

午後 4 時 散会

令和 4 年（2022 年）3 月 9 日

広聴特別委員長 矢 田 松 夫